

令和6年度第1回小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和6年6月5日（水） 10：00～11：30

会場：小合地区コミュニティセンター

【出席者】

小合コミ協：野瀬山副会長、金津コミ協：青木会長、山の手地区社協：栗山副会長、
小合民児協：古田会長、田村副会長、金津民児協：茨木会長、長寿楽：大西会員（代理）、
こすどプラチナネットワーク：大貫代表、地域包括支援センターこすど：木村センター長、
秋葉区健康福祉課高齢介護担当：林主査、今井係長(行政担当者)
秋葉区社協：横山事務局長補佐(代理)、藤田地区担当、小林

1 2層構成員について

・支え合いのしくみづくり会議の構成員について、前回の会議から、自治会・町内会長から入っていただいた方が良いという意見が出ていた。各地区構成員のバランスを鑑みて、山の手地区で候補がいるか確認。

→栗山構成員より、舟戸1，2自治会会長を候補として挙げていただく。
後日栗山構成員とご相談させていただく。

2 今年度の取り組みについて

①「圏域全体での取り組みとしてのサロン交流について」

趣旨

○交流

・サロンの自慢をし合うことで、他のサロンの良い所を知り、今後の運営に活かすことができる。
・交流会は年に何度か行うことで、地域に浸透していく。

○情報交換

・サロンの運営について情報交換することで、継続的な運営につながる。
・他のサロンに参加し、また行きたいという声があり、他のサロンを知ることも大事だと感じた。
・各サロンの課題を共有し、自身のサロン運営に活かしていく。

○次世代へのつながり

・次の世代につなぐための、何かを取り組まないといけない。
・次世代の大切さを地域が理解しないと活動が途切れてしまう。
・高齢者だけではなく、子どものことも一緒に考えていく。
・次世代につながる、子どもを育てる機会になるとよい。
・地域の中のつながりを作ることが大事である。

形式
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの代表が集まり、話すことができるとよい。 ・サロンだけではなく、自治会・町内会の話も聞きたい。 ・多世代での参加があるとよい。
内容
<p>○交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを交えた交流ができるとよい。 ・ゲーム等、誰でも楽しめるものは参加しやすい。 ・小合・山の手の大交流会では、情報交換の他に、ギターやロコモ体操、食の交流を行った。 <p>○情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の場として、他のサロンの紹介や、課題の共有を行う。 ・サロンの約束ごとの確認や活動を取りまとめることで、他のサロンの考えを知ることができる。 ・課題解決の場として活用してほしい。 <p>○勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代が継続して活動できるよう、サロンの勉強会を行う。 ・地域の歴史を学ぶ機会があり、よい反応があった。 ・代表者がモデルハウスや他のサロンへ参加して学ぶ。
その他
<p>○日頃のサロンの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の世代も含めてつながりが大切である。 ・年代を越えた関わりを考えていかないといけない。 ・子どもも巻き込んでいく。 <p>○今回の企画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回で終わらず、繰り返し開催することに意味がある。 ・圏域での開催は、参加するための交通手段が課題。知ってほしい人に来てもらわないといけない。 ・自治会との関わりがあるとよい。 ・規模を考えると、年1回の開催が限度だと思う。
取り組みの手法
<ul style="list-style-type: none"> ・本日出た意見を基に、今後の取り組み方の骨子を話し合うため、コアメンバーによる検討会の実施を、社協より提案。 →各地区1名ずつメンバーを選出（田村構成員、青木構成員、大貫構成員、栗山構成員）7～8月を目途に1～2回検討会を実施する。 9月に2回目の支え合いのしくみづくり会議を開催し、検討結果を図ることとする。

②「支え合いのしくみづくりの周知について」

- ・時間の関係で、次回の会議にて検討させていただく。